

県内唯一の「製袋機」専門メーカー

ムラタ、コロナ影響受けず需要底堅く

ムラタ(寒川町一之宮、☎0467-38-6017)は、県内唯一の「製袋機」専門メーカーだ。ポリエチレン(PE)やポリプロピレン(PP)製の包装資材の用途は、スーパーのレジ袋から、通販のエア緩衝材、生鮮野菜のバックまで幅広い。脱プラスチックの流れやコロナ禍にあっても、製袋機の需要は底堅く推移しているという。

社員数9人ながらも、製袋機的设计から部品加工、アセンブリー、プログラミングまで、ほぼ内製化する。包装資材は客先によって求められる形状、機能が異なるため、製袋機は全てオーダーメイド生

産だという。

現在、多くの製造業が直面する部品不足の懸念もない。米リーマン・ショックや東日本大震災で部品供給が滞った経験から、種類が異なる製袋機であっても、

使用部品の多くで標準化を進めた。年初から需要を予測し、まとめて仕入れているため、在庫は十分にあるという。「どんなことがあっても耐えられる企業にするのが目標です」と村田洋介社長は語る。

設立は1995年10月。当初は同業他社が10社ほどあったが、時代とともに淘汰(とうた)が進み、同社だけが残った。

価格競争とは一線を画し、機能性材料に対応した製袋機の開発にいち早く取り



組んだことが奏功したという。

現在はEVのリチウムイオン電池や医療用フィルム向けなど、特殊用途の製袋機の開発にも注力する。

■月2回のアイデア検証

同社は月2回、午前中に全社員が集まり、一人一人に業務上の不満点を語

ってもらい、解決策やアイデアを話し合う場を設けている。ここで決まったことは社内の「最優先事項」として、役職や上下関係を問わず、誰でも実行しなければならない「ルール」となっている。すでに5S活動や図面の手直しなど、数多くの業務で成果を上げているという。

生ハム生産でTPM活動

協同デリカ、精密製造業のノウハウ導入

生ハム・サラミ加工専門、協同デリカ(横浜市都筑区東方町、☎045-949-0086)は、製造業で生産効率の極限追求に用いられるTPM(トータル・プロダクティブ・メンテナンス=全員参加の生産保全)を導入した。精密製造業のノウハウを関連会社から適用したもので、パート社員を含めた全従業員約30人で日常的なカイゼン活動や細菌検査、官能検査といった品質検査に取り組む。

イタリアやスペインから輸入した生ハム、サラミなどの非加熱肉製品を加工している。老舗レストランから大手小売業まで、種類や生産ロット、包装方法な

どが異なる1000種類以上の商品を手掛ける。

人員も設備も限られる中小規模の工場では管理体制が整っていない例が少

なくないが、取引先からのニーズに可能な限り応えることで市場の拡大にもつながると、「精密製造業の生産管理」を食品加工の現場にも導入した。

池田伸敏社長は「われわれの業界では珍しく、製造業がやっているように品質管理の徹底とデータ化を進めることで、生産性や品質の向上にもつながります。取引先にも安心してもらえます」と説明する。

相乗効果を生んだ同社の関連会社、協同インターナショナルは、「電子



MEMS」[ライフサイエンス][畜産・酪農][食品・食料]など多岐にわたる事業を手掛ける。

一見、関連性がないように思える各事業だが、それゆえに「ほかの業界の当たり前を知り、取り入れることもできます」(池田・協同デリカ社長)と言う。

■日本で初めて輸入

約40年前、日本に初めて生ハムを輸入、普及させたのも協同インターナショナル。当時は営業に行っても「誰も食べない」との意見が多かったが、今では

老舗有名店やホテル、スーパーにも並ぶようになった。

需要の高まりとともに、加工包装専門の会社として協同デリカを2000年3月に設立。今では、レストラン業界から百貨店などまで取引先も幅広い。



フォトリソ工程、格安でデモ評価可能

カナメックス、半導体の研究開発向けに提案

半導体製造装置メーカー、カナメックス(厚木市愛甲、☎046-270-7373)は、半導体の研究開発(R&D)分野におけるフォトリソグラフィ工程などの前処理工程で必要になる実機を一堂にそろえ、開発中のプロセス試験や検証ができるデモルームを整備している。

実験機を持たない企業や、実機購入前にプロセスを確認したい企業などが「格安料金」でデモ評価できるという。

同社は半導体やエレクトロニクス基板、微小電子機械システム(MEMS)

関連の装置を製造販売。洗浄や塗布、現像、エッチング、はく離装置などを手掛ける。

中でも次世代ウェットプロセス装置「Kシリーズ」は、洗浄から塗布までの各プロセスで、標準機に対し、必要な仕様を次々と追加できるセミカスタマイズ装置で、主力製品となっている。

デモルームでは、クリーンルームと純水供給ユニットのほか、排気スクラパー、ウェットプロセスのデモ評価・実験用のスピンプロセッサなどを完備。

前工程の各プロセスをテストできる。利用料は1回20万円程度。

また、ここで分かった課題に対し、解決につながる装置を同社が設

計、製造していく。

■稼働率9割以上

なお、同社は年間30台程度の半導体製造装置の生産能力を持っている。ここ数年は「(半導体の需要増を背景

に)常に9割以上の稼働を維持しています。すでにこの規模では限界です」(石室祝社長)と話している。電気自動車(EV)などに使われるパワー半導体などが市場をけん引しているという。

社長さんが知っておきたい冠婚葬祭のマナー

社会人になると、人のお付き合いも増え、お通夜や葬儀などに参列する機会も出てきますよね。その際、御香典を包みますが、その意味合いをご存じでしょうか?

前回に引き続き、シリーズ2回目となりますが、御香典について多数お問い合わせのあった事例をQ&A方式でご紹介いたします。

Q. 御香典を出すタイミングはいつですか?

A. 「香典」とは、お香や花の代用として、故人に手向ける金銭を意味します。一般的には、香典袋(不祝儀袋)にお札を包み、通夜や葬儀、または告別式に持ち寄ります。通夜と葬儀の両日参列する場合がありますが、2回出す必要はありませんので、通夜へ参列する時に用意しましょう。

Q. 御香典を渡す時のマナーはありますか?

A. 気を付けていただきたいポイントを基本的な流れに沿ってご説明します。

▽御香典を包む袱紗を準備しましょう
冠婚葬祭で渡す金封は、祝儀・不祝儀にかかわらず、「袱紗(ふくさ)」に包んで持参します。袱紗は、絹やちりめんで作られた小さな風呂敷で、金封などに汚れや折り目が付かないように

使用するものです。胸ポケットや鞄に金封などを、直に入れてはいけません。

▽葬儀会場にて記帳を済ませた後、受付の方へお渡しする場合「この度はご愁傷さまで」と、短くシンプルなお挨拶と一礼をしましょう。そして、袱紗から御香典を取り出し、渡す相手側にのし書きの文字が読めるように、向きを変え、必ず両手を添えてお渡ししましょう。また、手渡しではなく、御香典用のお盆が用意されている場合もありますので、その時は、お盆の中に両手を添えて納めましょう。

▽ご葬儀の後、ご自宅に弔問し仏前に供える形でお渡しする場合

ご遺族に直接手渡しする場合は、先ほどご紹介したとおりで問題ありませんが、仏前に供える形で渡す場合は、自分で文字が読める向きに変えて、両手を添えてお供えしましょう。

最近、自宅葬や小規模な葬儀では、受付がないこともあります。その場合は、ご遺族にご挨拶の際にお渡しするか、仏前にお供えする形でお渡ししましょう。その時の状況によって、渡すタイミングや渡し方のマナーが変わりますので、頭の片隅に留め置いてください。

素敵な振る舞いができる大人になれるよう、どうぞお役立てください。(fami友葬・清水ふじ代)

大人の知恵袋① ~御香典の出し方って?~



株式会社 建新

ALL-win

神奈川No.1住環境企業へ

<https://www.kensin-inc.com/> TEL: 0120-954-326

ホーム建創 株式会社

経営 財務
営業 人事

ワンストップで問題解決。

社長の相談役

神楽坂コンサルティング株式会社
www.kuruzo.com/ ☎03-4570-0655

「世界初」を生み出すテクノロジー

確かな技術が次世代を支える!

株式会社 サイマコーポレーション
7251-0047 神奈川県横浜市西区南青木1-7

中小企業のDX化なら
ご相談ください

業務改善 つながる 売上に

ATLIKE株式会社
川崎市幸区柳町24-1
contact@atlike.co.jp

情報漏洩を完全にシャットダウン!

データ消去の事なら
お任せください!

上場企業・官公庁からの依頼実績多数!

リ・バース株式会社
044-223-7820 9:00~17:30 (土日祝除く)

ポストコロナ時代
自分を守る!
社員を守る!

抗菌 抗ウイルス水 ノンケミカル
人、金属、樹脂、衣類にもやさしい

HTシルバー10

お買い求めの方はこちら

メディサイエンス・エスピア株式会社
川崎市幸区新築越1-2 2-502
TEL 044-511-2214